



2024年8月30日

国際協力機構（JICA）ベトナム事務所

ビンフン下水処理場竣工式（第2期ホーチミン市水環境改善事業）

8月30日、円借款事業「第2期ホーチミン市水環境改善事業」（以下、本事業）により拡張されたビンフン下水処理場の竣工式典がホーチミン市人民委員会主催で行われました。

JICA ベトナム事務所の菅野 祐一所長が同式典に出席し、竣工を祝う記念樹の植樹を行いました。ベトナム側からは、ベトナム政府、ホーチミン市共産党・同議会・同人民員会、日本側からは在ホーチミン日本国総領事館をはじめとして、事業者/コンサルタント各社の代表者が出席しました。

「ホーチミン市水環境改善事業」は第1期として、2001年にタウフ・ベンゲー運河流域における下水処理施設建設支援を開始しました。このプロジェクトは2009年に完成し、141,000 m³/日の処理能力の下水処理場建設や、後にバンキエット街路に改名されたサイゴン東西高速道路とサイゴン川を横断するトゥーティエムトンネルの整備により、ホーチミン市の交通と環境景観を大幅に向上させる貢献をしました。

本事業である第2期では、総額382億円の円借款供与により、第1期対象地域の上流にある地域人口約180万人のタウフ・ベンゲー運河流域を対象に、下水処理場の拡張や遮集管の建設・運河の改修が行われました。本事業により下水処理場の処理能力は469,000 m³/日と約3倍に拡大し、下水処理場にはターボブロウ、遠心脱水機、污泥掻寄機など、日本製の水処理機械が導入されています。また51kmの集排水渠の整備のうち、26kmについては日本の地下掘削技術を使用して建設されています。さらに、事業領域内に3つの雨水排水ポンプ場と浚渫船を建設し、総延長6.4kmの運河堤防を整備しました。

ベトナム最大の都市であるホーチミン市では、雨季の幹線道路の冠水や河川・湖沼・運河の水質汚濁が深刻な問題となっています。また、下水処理場が十分に整備されておらず、今後、人口増加に伴い水質汚濁等がさらに進む可能性が考えられ、下水道・排水システムの整備等が緊急の課題です。本事業は、ホーチミン市の下水道・排水システムの整備を行うことで、汚水処理能力の向上及び浸水被害の軽減を図り、同市の都市・生活衛生環境の改善に寄与します。JICAはこれからもこうした都市水環境セクターにおける協力を注力してまいります。

お問い合わせ：JICA ベトナム事務所 広報班 関 里緒菜

Tel: (+84-24) 3831 005（内線 125）E-mail: Seki-Riona@jica.go.jp



事業者：株式会社日立製作所、株式会社日水コン、ヤスタエンジニアリング株式会社

コンサルタント：株式会社日本工営